

平成22年6月22日(火) 福岡小学校 参加者18名

19:00 開 会

- ・市長あいさつ
- ・自己紹介(副市長、教育長、総合政策部長)
- ・財政状況の説明(総合政策部長)
- ・老朽化する公共施設の説明(市長)

参加者：老朽化や財源不足だから大変と言われても、具体的な老朽化施設はどれなのか、また、施設をどうするかの前に、市の仕事の整理が必要ではないか。市は要らない仕事をしているのではないか。老朽化した施設については、もう少し具体的に話をしてもらいたい。

部 長：現在の耐震基準前のものは、庁舎、コミセン、公民館、保育所などです。学校については順次、耐震工事を実施しています。

参加者：いま財政が厳しいと言われても困る。市はこれまで何をしていたのか。

副市長：神戸の震災(阪神淡路)の後、新しい基準が整備されました。全ての構造物は平成27年度までに終わらせるのが国の施策で、そのために国でも補助金制度があります。古いからといって全部を直すわけではありません。どこを耐震補強するのか、人口等の規模などを踏まえ、検討を進める必要があります。

参加者：公民館分館の制度は残っているのか。あるとするならどのくらいあるか。

部 長：大井地区で18か所です。

参加者：使い方など旧上福岡と旧大井の制度(分館制度と集会所制度)の違いは是正されているのか。

部 長：分館は地域の方や地区の事業などで使っています。集会所的な役割も担いながら、申し込み制により利用しています。

市 長：旧市町で制度に違いがありました。費用負担の面でも差があります。適正なあり方を考える必要はありますが、旧大井地域も分館制度という歴史の中でこれまでやってきました。費用負担の違いの緩和のため、上福岡地域

にも補助金を上乘せするようになりましたが、公的補助ではなく受益者負担の考え方は必要なので、時間はかかるかもしれませんが、理解を求めながら全体として是正していきたいと考えます。

参加者：このタウンミーティングで、テーマが老朽化した施設に偏るのはいかなものか。

財政が厳しいと説明を受けても、今まで桜通線や東西道路の事業などを進めてきている。お金がないという話の前に、過去の事業を反省し、市民に説明してからだと思うが。まずは、反省の上に市民の意見を聞いてそこから議論すべきでないか。

また、議員の長期化やそれを認めてきた議会もおかしい。市長と同様に多選を禁止すべき。今回の資料にも自治基本条例の市民検討組織の募集がある。このように市民が市政に参加すれば議員は必要なくなるのではないか。

市長：タウンミーティングは私のマニフェストに掲げたものですが、過去に上福岡で実施した経験から、御用聞き的なものになることを避けるということで、今回は合併特例債の活用期限などもあり、このテーマに絞らせてもらいました。皆さんの声を聴き今後の判断材料にしたいと思っており、今後このような場を継続的に持っています。

また、テーマについては、後半に地域の課題ということでお話していただく機会がありますので、そこでいろいろご意見等いただければと思います。桜通線については、私も商店街の一員として商店街が分断する事は良いとは思いませんでしたが、住宅が密集した北野地域の防災上の観点や消防、救急など緊急車両の通行の課題への対応として進めてきたと考えております。全てを否定できないと思います。

議員の多選の問題は、議会が自ら考えるものです。市長、議員それぞれ選挙で選ばれており、地方議会は二元代表制でもあるため、市長からその事について提言することはいかなものかと思います。

参加者：議会をよく傍聴している。今回の議会では、議員定数の件があり傍聴者が多かったが、いつもは少ない。議会のアピールも必要なのでは。

市長：ご指摘のとおり、PRに努めます。

参加者：今回のタウンミーティングでは、テーマが決まっている。私も今回の進め方について疑問はあるが、まずはテーマの老朽化する公共施設についての議論を徹底してほしい。(前者の意見に対して)

施設を論ずる前に、市の仕事を説明してほしい。業務を見直した後、施設

をどうするか議論になるのではないかと。

市長：行政内部でも事業の見直しは進めています。特例債の期限が残り5年となり、ごみ処理施設の建設もギリギリの状態です。庁舎の問題も同様で、直ぐに検討する必要があります。もちろん事業の見直しもあわせ、残された時間を考えて老朽化する施設をどうするかを優先し、テーマにさせていただきました。

参加者：全工程がみえない。老朽化、だから特例債だと言うのはおかしい。業務などを整理し優先順位をつけて見直せば、庁舎はいらないかもしれない。学校も一つ位はいらないかも。途中が全く見えないので、そういう情報を整理し明らかにして欲しい。

教育長：学校については、10年後に4学級減るところが2校あります。福岡小、西原小。しかし、一方では増えるところもあり、極端には減らない推計となっています。

参加者：5年位前にも児童が増えて大変だと聞いている。実態としては足りているのではないかと。

市長：説明が足りないかもしれませんが、その過程を説明すると限りなく時間がかかってしまいます。限られた時間の中で、沢山の意見を聴きたいという思いからこのような形で進めさせてもらっています。新たな取り組みとしてご理解ください。

参加者：地域によっては、学校までの通学距離は遠いところがある。現在の地域から学校がなくなるとさらに遠くなる。学校は減らさないでほしい。2小、4小の統合とは状況が違う。

市長：現段階では学校の統廃合は考えていません。それは、現在児童が少ない学校でも、開発などによって増える可能性があるからです。

参加者：庁舎のあり方について、大井地域の住民はどのような要件で支所に行くケースが多いのか。もし住民票とかだけなら、そういったサービス部分だけを残して、用地を有効に使った方がよい。また統合した方がわかりやすいのでは。

市長：大井支所の窓口サービスの充実を考えてます。先般の議会でも出されまし

たが、テレビ電話など、やり方によっては十分なサービス提供が可能と考えます。

参加者：けやき通りのけやきが大きくなりすぎて、見通しがわるい。緑も大切だが、見通せるぐらいにしてほしい。

市長：市民の皆さまと一緒に歩き道路の危険箇所などの発見に努めています。大井の鶴ヶ岡にけやき通りがあり、当時はよかったが大きくなると壁のようになってしまいました。要望なども踏まえ考えてまいります。

参加者：権現山の開放は可能か。上野台地区の開発の進捗状況は。

市長：半分くらいが中高層で、半分くらいが戸建の予定です。ただし、民間事業者の都合で変更になる事もあり得ます。

教育長：権現山については、今年の秋に開放する予定です。

参加者：総合体育館用地について用途がきまるまで、有効利用を考えたかどうか。

市長：もともと用地については目的があって取得しています。いくつか要望も頂いているので検討してまいります。

参加者：市の広報やHPについて、広報の6月号は刷新されたが目次や見出し的なものがない。記事が一目でわかるようにしてほしい。HPは市民参加できるエリアがほしい。

市の組織面では、お金関係、財政、会計、税務など一つの組織でよいのではないか。

市の沢山ある計画の進行管理はだれがやっているのか。

教育関係では、生涯教育をもう少し体系的にやってほしい。カリキュラムの見直しをするほか、講座受講者などの人材を積極的に活用するなど、地域の活性化の意味もあり50歳以上の人を使ってほしい。

市長：市報などは、今後も改善していきます。行政の進捗状況等について、私も市長室にホワイトボードをおいて重要施策の進捗管理をしています。

教育長：生涯学習の件については、もう少し広い目で見たいと思います。

参加者：施設については大胆な見直しが必要ではないか。分館といっても実態は違

って集会所だろう。分館の役割をしているとは思えない。それを認めたい
えで、見直してほしい。

市 長：ご意見ありがとうございます。適切な判断を行いたいと思います。

参加者：決算の説明で、収入が減る減ると言っているが、今日ここで発言している
皆さん一人ひとりが、自分達で出来ることを自分達がやれば、支出が半分
になるのではないか。地域で相互の支え合いの制度などつくれば、医療費
が減り、支出も減ると考える。

市 長：そのとおりと考えます。マニフェストで日本一のシルバー世代を掲げてお
りまして、皆さまにご協力いただければと思います。

参加者：公共施設について違う視点で考えてほしい。修繕費が発生するなら、維持
費のかからない建物の設計など、提案型のコンペでやってほしい。50年
100年使用できる公共施設をつくってほしい。日本中全部が補助金まか
せにメンテナンスのことを考えず建てている。いろいろな価値観はあるが、
賢くなる必要がある。20年後に、何であんな施設をつくったと言われな
いような仕事を望む。

21:00 閉 会